

トピックス 1

上信越道の対面通行に伴う渋滞予測

上信越道では、台風19号による災害復旧工事のため、碓氷軽井沢IC～佐久IC間で終日対面通行を実施しています。

年末年始期間は、上下線において最大10kmの渋滞を予測しています。

渋滞箇所の通過には多くの時間を要する見込みですので、渋滞が予測されている日や、渋滞のピークとなる時間帯を避けた分散利用にご協力をお願いします。

■ 上信越道(碓氷軽井沢IC～佐久IC)の位置図と対面通行詳細図



■ 年末年始期間における渋滞予測

日付	上下	渋滞発生箇所	最大渋滞長	渋滞発生時間帯	ピーク時刻	渋滞通過時間	各時間帯ごとの渋滞長													
							7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
1月2日(木)	下り	八風山トンネル付近	5km	8時～12時	10時	約20分														
1月3日(金)	下り	八風山トンネル付近	5km	8時～12時	10時	約20分														
1月3日(金)	上り	八風山トンネル付近	10km	14時～21時	18時	約40分														
1月4日(土)	上り	八風山トンネル付近	5km	14時～20時	17時	約20分														

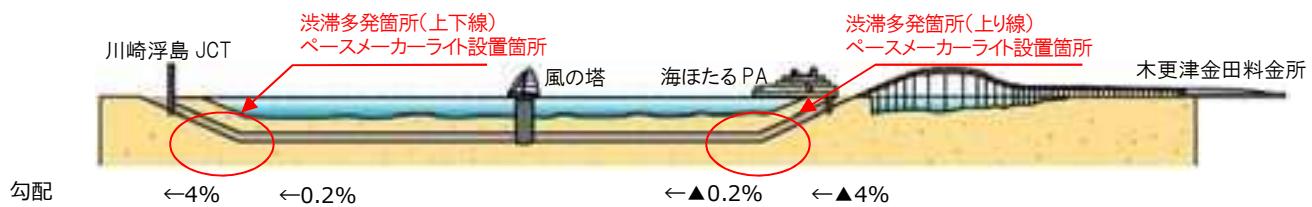
■ 予測渋滞長 0～5km 予測渋滞長 5～10km

トピックス 2

CA 東京湾アクアラインの渋滞

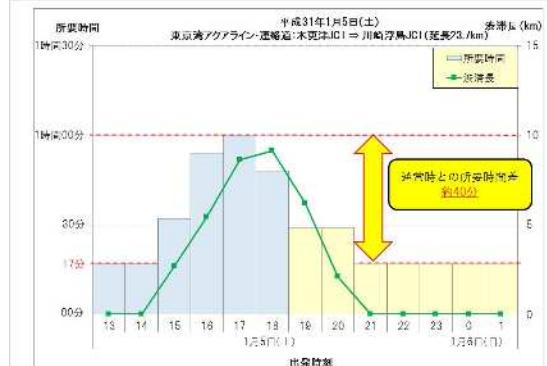
東京湾アクアラインの交通量は、ETC 車を対象とした料金割引(平成21年8月～)や大型商業施設の開業(平成24年4月～)等により年々増加し、週末には上下線で恒常に渋滞が発生しています。多くの場合、アクアトンネル内の勾配変化に気づかず、速度低下してしまうことが渋滞発生の主要な原因となっています。

NEXCO東日本では、このような速度低下しやすい場所の壁面にペースメーカーライトを設置しており、速度低下予防に大きな効果を発揮しています。しかし、年末年始期間のように特に交通が集中する期間では、上下線で長い渋滞が発生すると予測しています。渋滞が予測されている時間帯を避けた分散利用にご協力をお願いします。



■ 平成31年1月5日(土)[上り線]の事例

昨年の渋滞ピーク日には、非渋滞時より所要時間が約40分多くかかったことが分かっています。



■ ペースメーカーの設置状況



また、平成30年12月にNTTドコモのAI技術を活用した『AI渋滞予知』をリニューアルし、30分毎のアクアライン通過に要する所要時間と交通需要の提供を開始しました。人口統計により把握した当日の人出をもとに、天候やイベントなどの影響を考慮した高精度な予測が可能となっております。アクアラインで房総半島にお出かけの際は是非ご活用ください。

当日12時時点の人口分布

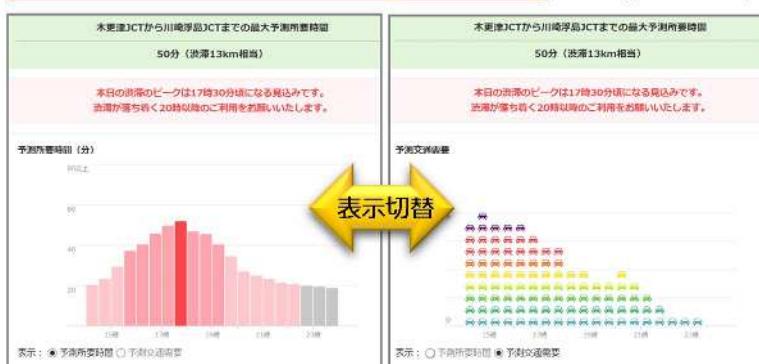


POINT

- ・ 当日12時時点の房総半島の人出から「交通需要」を予測
- ⇒世界初の技術！
- ・ 当日の人出を考慮できるため、天候や突然的なイベント開催などにも対応
- ⇒的中率90%以上！

30分ごとの所要時間・交通需要を予測！

※画像はイメージです



「ドラぷら」にて
毎日 14 時配信

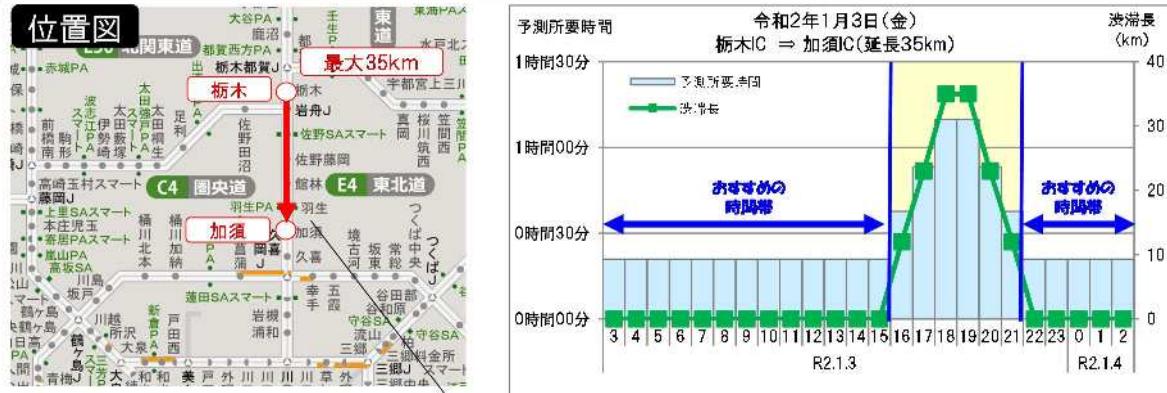


トピックス3

特に長い渋滞の回避例(方向別ワースト)

1月3日(金) E4 東北自動車道(上り線)加須IC付近を先頭とする渋滞(最大35km)

- ◆ 栃木IC → 加須IC区間を走行する場合、渋滞のピークは18~19時で、渋滞がない場合に比べ約3倍(約1時間10分)の所要時間を見込んでいます。
- ◆ 栃木ICを15時以前または22時以降に通過する場合の所要時間は約25分程度と予測しており、これらの時間帯の利用をおすすめします。



◆ 渋滞原因: サグ部等での速度低下

加須IC付近はゆるやかな勾配変化が連続しており無意識のうちに速度が低下しやすくなっています。速度回復表示板で速度低下ポイントをお知らせしていますので、周りの車に気をつけ速度低下にご注意ください。

1月3日(金) E17 関越自動車道(上り線)高坂サービスエリア付近を先頭とする渋滞(最大35km)

- ◆ 本庄児玉IC → 鶴ヶ島IC区間を走行する場合、渋滞のピークは17~18時で、渋滞がない場合に比べ約3倍(約1時間10分)の所要時間を見込んでいます。
- ◆ 本庄児玉ICを13時以前または23時以降に通過する場合の所要時間は約25分程度と予測しており、これら時間帯の利用をおすすめします。



◆ 渋滞原因: サグ部等での速度低下、SA部の合流

この横断幕の付近は無意識のうちに速度が低下しやすくなっています。渋滞の原因となるためご注意ください。
また、高坂SAをご利用のお客さまは本線合流後、渋滞予防のためしばらく左車線のキープをお願いいたします。